



花小CSだよ!

花小CSビジョン:「もっと地域を好きになる!」
—保護者と地域と学校で、子どもを育てる—

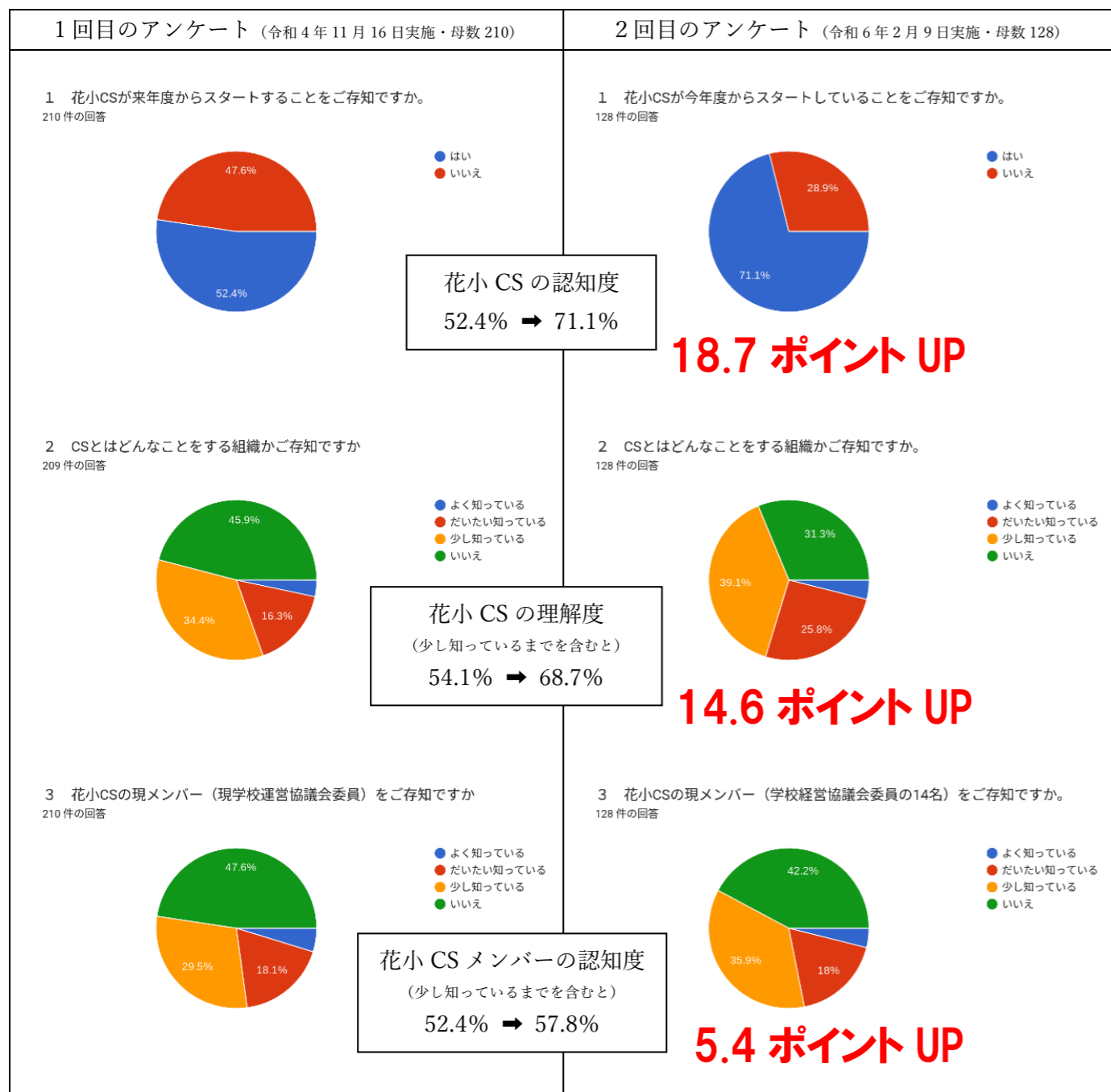
R5 学校経営協議会(CS会議)日程
 第1回 4月27日(木)
 第2回 6月17日(土)
 第3回 9月9日(土)
 第4回 10月21日(土)
 第5回 11月9日(木)
 第6回 12月14日(木)
 第7回 1月13日(土)
 第8回 3月14日(木)

令和6年2月29日
 学校経営協議会会長 中條 浩美
 小平市立花小金井小学校 副校長 大澤 宏史

コミュニティ・スクール 第9号

花小CSアンケート結果

アンケートへのご協力、ありがとうございました。以下、結果になります。



- 4 花小CSへのご意見やメッセージなど(ない方は「なし」とお答えください)
- 平日は仕事をしており知り合いもほぼいない中、お友達と一緒に過ごす時間が少しでも増えたらいいなと思っています。
 - 卒業生の力も合わさるととてもいい取組になると思います。
 - CSの手紙だけでは何のことかわからないと思います。趣旨や活動内容をもっと広くアピールする手段があると良いのかなと思います(TwitterやInstagramなどのSNS?)
 - それぞれのメンバーが持っているスキルや経験を持ち寄って大きな声に惑わされずに、今な花小に何が必要かを話し合いながらじっくりしっかり活動を進められる組織になって欲しいと思います。
 - 保護者が忙しく、地域や社会から孤立しがちな状況にあることを、保護者自身が気づいていない気がします。学校に気軽に行きたくなるイベント、機会があるといいのかなあと思います。
 - 「花小CS」だけだとまだなんのことかわからない人が多いと思います。認知を上げるためメールを定期的を送るのであれば、定着するまではメールタイトルも全て「花小CS」ではなく省略せずに「花小CS(コミュニティ・スクール)」に。また、自・他地域でのCSの具体的な活動内容を定期的に紹介していただくと、より身近なこととしてイメージできて興味を惹くことができる気がします。
 - 花小の周りには高齢者施設がいくつかあるので、交流の機会があると良いと思います。パワー溢れる高齢者は沢山いらっしゃと思うので、年齢に関係ない地域の交流に期待します。
 - 誰にでも優しさ思いやりを持てる人になってもらいたい。
 - あまりお互い(先生たちも地域の人たちも)大変ではない形でつながってほしいのかなと思います。
 - 地域全体で子どもたちを育てる。そういう昔ながらのコミュニティが自然と出来る地域づくりをお願いします。
 - 様々な立場の方が参加されていると思いますので、色々な角度から意見・提案等をして頂き、私たち保護者も共に子供たちをサポートできたらと思います。
 - 子どもたちを通して地域が密接な関係に、家族の様に温かなコミュニティになるといいですね!
 - はじまる以上はしっかりやってもらい情報公開に努めていただきたい。委員の選定、評価基準をしっかりと定めてもらい、役職だけで選ばれることのないように制度設計および運用してもらいたい。
 - CSの目的を達成するには、保護者も子どもも何かに実際参加してみないと実感を得にくいのかなと思いました。
 - 明るく落ち着いた空気の花小、花小地区を、益々盛り上げてくださるよう、よろしくお願いたします。
 - 花小金井地区は都外からの転入者も非常に多いので、保護者と既存住民との交流機会も兼ねた親子参加型イベントがもっと催されると良いのではないかと思います。バザーを親子出店でやるとか、夏祭りの屋台を子供が出店する(もちろん親もサポートで)とか。
 - CSになる事で、より子供達が保護者だけでなく、地域の方々にも見守られながら成長できる環境になると素敵ですね。保護者が地域の方々ともつながれるきっかけにもなるのかなと思います。

- 4 花小CSへのご意見やメッセージなど(ない方は「なし」とお答えください)
- 花南中の堀井校長が参加されているのはとても良いことだと思います。小中連携、ぜひ進めてください!
 - 活動内容のお便りを読ませて頂いています。お忙しい中、地域、子ども達の為に考えて動いてくださって感謝です。
 - CSだよりにより、CS会議で話し合われた大まかな内容は分かりますが、あまり身近さを感じません。具体的にどう変わったのかも実感できていません。
 - 『地域に開かれた学校づくり』は実際に何をしていますか?保護者としてではなく花小地域の住民として客観的に見た場合、何の情報も有りません。それでは『地域に支えられた学校』にはなれません。メンバー内で結論付けるのではなく、もっと外側に発信を。
 - CSが出来る前と出来た後の違いがわからない
 - 「CSは保護者含め地域住民が学校の運営に関わることができるもの」という認識でいますが、具体的にどのような活動の可能性があるのかは、正直なところイメージが湧きにくいと思っています。
 - 花小には学校に関わる団体(保護者の会や青少対など)がいくつかあって、その団体の代表的な方々がCSのメンバーとなって子どもたちのための学校づくりについて話し合ってくださいしていますよね。それぞれの団体、個人での活動の中で浮かび上がる課題や思いをみんなで共有しようという思いを感じます。では、具体的な課題についてはやはり既存の団体内での解決を目指すということになるのでしょうか?そのような課題に対し、CSがどのような立場で関わりを持っていくのが私はよく分かりません。例えば、保護者の会での登校パトロールはなり手不足の課題があるようです。未就園児の親や仕事の都合がある親は参加が難しく、現状西東京市のようにシルバー人材センターが掛け負ってくれるような見込みはない。それを今後どうしていくのかは主体である保護者の会が決めていくことだとは思いますが、CSとしてはどのような捉え方を、どういった立場で関わっていくのでしょうか?保護者の中には積極的にお手伝いに出てくれる人が少なくなっているような印象をうけるのですが、そのような風潮の中で、CSはどのような課題を感じ、どのような活動をしていこうと考えているのか教えていただきたいと思っています。
 - 皆さん忙しい中、沢山の楽しい企画をして下さり感謝しています。
 - CSで話し合われた事が、例えば、保護者(保護者の会や青少対の委員)の負担になる事がないようにと思って見ている。
 - 地域のいろんな方が合わさって話をするだけで繋がりが持てるし、広がるキッカケになるのかなーと思っている。
 - 書き方教室に参加させていただきました。学校でこのような企画(子どもたちの学びに繋がる企画)があるのはすごくいいなと思います。そして、先日、一年生の昔遊びの見守りボランティアに参加したのですが、時間が短く、もっと時間があつたらなということ言っていたので、CSの企画にあるといいのになと思っていました。可能でしょうか。

※紙面の都合で、質問4については、いただいたご意見から一部を紹介

CS(コミュニティ・スクール)とは?

CSとは、学校経営協議会を設置した学校のことで、学校経営協議会とは、子どもの周りにいる地域の大人が互いに協力し合って、自分のまちの子ども達を守り、育てようとするための仕組みです。

CSの目的は、保護者や地域住民の学校経営への参画と連携をすすめ、地域に開かれた学校づくり、地域に支えられた学校づくりをしていくことです。

令和5年度 学校経営協議会委員(CS委員)の皆様 ※敬称略

会長	中條 浩美	(花小サポーターズ代表)
副会長	齋藤 貴彦	(小平市職員・樹医)
	天野 岳洋	(花小金井南公民館館長)
	鍵山 智子	(地域教育コーディネーター)
	鈴木美知子	(民生委員児童委員)
	瓦井千恵子	(民生委員児童委員)
	椎名 理沙	(保護者の会委員長)
	田中 京子	(地域教育コーディネーター)
	東海 祐子	(花小地区青少対会長)
	深川 真人	(花小金井小学校園芸ボランティア)
	堀井 賢治	(花小金井南中学校校長)
	松浦 竹美	(花小地区青少対副会長・小平市青少年委員)
	森井 良子	(元小平市教育委員会教育長職務代理者)
	大澤 宏史	(花小金井小学校副校長)